

Image Image Image

～身近な人をH a p p yに～

敬愛学園高校 1 学年

『総合的な探究の時間』（キャリア教育）企画書

後援：稲毛区



学校法人 千葉敬愛学園

敬愛学園高等学校

【企画提案】

本校では『総合的な探究の時間』で、社会・世の中から問題を発見し解決策を探究して発表する活動を行っています。1年生は、企業、稲毛地域の公的機関、店舗、大学、NPOなどの皆様から、その職種に応じた課題テーマ（ミッション）を出していただき、生徒の課題研究への助言や評価をいただくことにより、生徒の成長をさらに促し、地域に根付いた教育をしたいと考えております。今年度で5年目となる活動です。ぜひ、お力をお貸しください。

【対象高校生、時期】

敬愛学園高等学校1学年（460名） 9月から2月

【実施方法】

協力機関様（以下、「イナイメサポーター」）には、高校生向けに「〇〇せよという内容の課題テーマ（以下ミッション）」と「期待する〇〇力」を一つ提示していただきます。生徒は教科『総合的な探究の時間』（木曜日3時間目）において、選択したミッションを選んだ者同士でグループを編成します。グループは問題解決に向けディスカッションを行いながら、お示しいたきます発表形態にて発表できるよう探究を深めていきます。最終的にはミッションをいただいたイナイメサポーター様に向けてプレゼンテーション（スライド、動画、紙芝居など）を行い、評価をいただきます。

敬愛学園高校の建学の精神は、西郷隆盛の座右の銘である「敬天愛人」です。解釈はさまざまですが、高校1年生向けには“身近な人をHappyに”と分かりやすく読み解きました。皆様にはそれぞれの仕事を通じた“身近な人をHappyに”する高校生の感性を生かし

たミッションを与えていただきたいと思います。ミッション決定に際しては、学校も皆様と協議していきたいと考えています。

【学校・生徒に対してのメリット】

〔キャリア教育から学習につなげる〕

キャリア教育の観点から、学校だけでは学べないことに探究的に取り組むことで、生徒は将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さが理解できます。卒業後の進路や職業・産業の動向についても多面的・多角的に情報を集める力になると思います。そして職業観・勤労観を理解し、働くことに対する認識を深めることにつながると考えています。

〔自分の存在を確かめる「生きがいとやりがい」〕

世の中の役に立つ人材となるための意識をもって、真剣に学ぶことで、生きがい・やりがいがあり自己を生かせる生き方や進路を考えていきます。自分が役立つ存在であることを知ることができたり、自己の新たな可能性を発見すると思います。

〔チームで問題を解決する力をつける〕

自分の考えの範囲を越えた社会的な視点、協働的な取り組みで発生するアイデアと議論、問題解決といった、生徒にとっていま最も大切とされる能力育成に大きな力を与えてくれると思います。

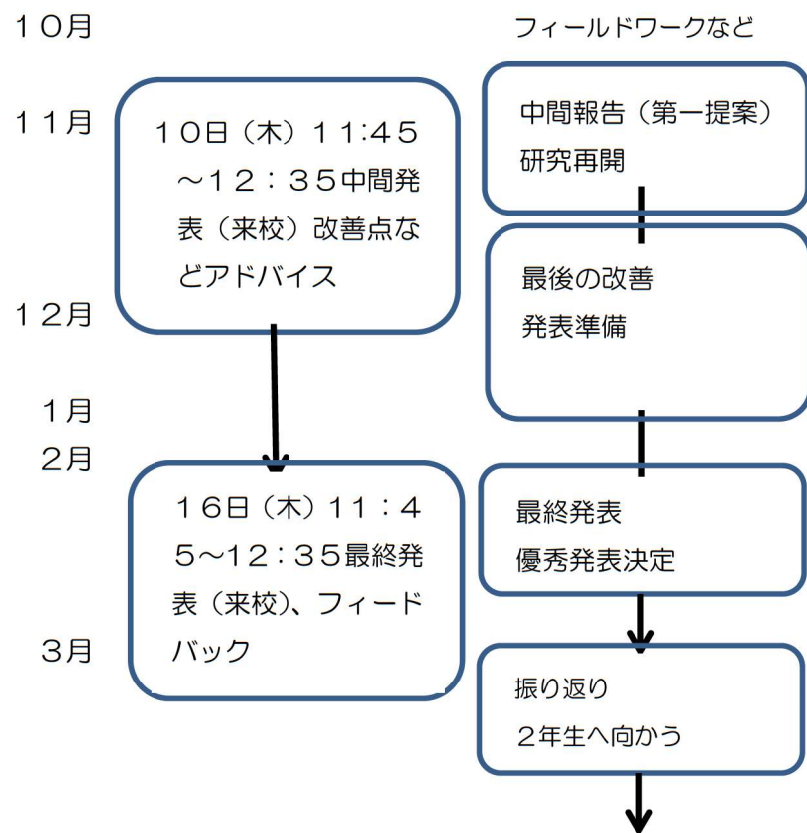
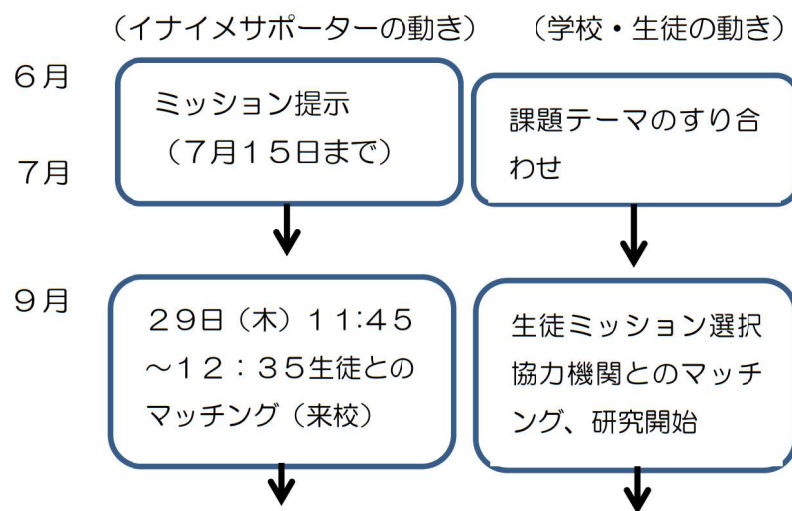
〔社会人としてのマナーを身につける〕

生徒が社会人としての常識・マナーを学ぶ必要性や意義を理解し、身をもって習得することができます。電話のかけ方、あいさつやお礼などから、異世代とのコミュニケーション方法まで、身につけることができる場になると思います。

〔学校がもっと地域に根付く〕

「文教都市稲毛」を推進すべく、高校生が探究的な学習を通じて地域に関わり、また、地域の皆様から彼らの取り組む姿勢を見ていただいたり、結果として地域の皆様に高校生らしい新しい発想やアイデアを提供することができれば、本校をこれまで以上に応援してもらえる機会になると思います。また、このプロジェクトが徐々に稲毛地区の高校や小中学校に広がり、連携できたら地域により一体感がもたらされるでしょう。地域の産業やそこに働く人々の素晴らしさや大切さを発見する場合もあり、そのことが地元に対する愛着や誇りを持つことにつながってくれば最高だと思います。

【スケジュール】



【イナイメサポーター様への考えられるメリット】

〔イメージアップ〕

生徒の活動または成果物をホームページ掲載いただくことにより、イメージアップに少しでも繋がればと思います。過去には千葉日報、読売中高生新聞に取り上げていただいたこともあります。また、昨今の企業のCSR活動にも合致していると考えます。中学3年生への高校パンフレットには全サポーターのお名前を入れさせていただきます。

〔次世代の人材育成〕

小さなインターンシップのようなものですが、高校生にその業種のイメージを持たせ、次世代の人材育成をはかることができます。高校時代は刺激に対して非常に感化されやすい年代です。そして、お世話になった人や成長を促してくれた人に対して、ずっといい印象を持って人生を送っていきます。もちろん、直接その業種に就く高校生もたくさんいると思います。

〔SNSで良いイメージの拡散〕

生徒は自然と自分の親、友達、近隣に皆様のことを話題にします。SNSでの拡散も期待できます。我々教員も、生徒たちのSNSの威力には舌を巻く毎日です。彼らの、事象を切り取って一言にする、また一枚の写真にする技術は生半可なものではありません。

〔高校生ならではの瑞々しい感性〕

生徒の斬新な発想やアイデアを知り、若者の意識について把握ができるので、新製品の開発や市場の開拓などの一助になることもあると思います。また若い世代の感性やアイデアが成果を生む可能性を持っていると考えています。過去3年間で、書店やカフェなどで生徒のアイデアを実現していただきました。

【人員】

1 グループ 6～7 名、2～4 グループ程度を割り当てさせていただきます。

（参考）【高校生をとりまく背景】

- ・昨今の教育改革の流れの中で、「何を知ったか」より「何ができるようになったか」が求められるようになっていきます。
- ・企業が望む人材像ということで「コミュニケーション能力」、「主体的に物事に取り組む力」、「答えの出ない問題にも粘り強く取り組み、自分たちなりの答えを探し出していく力（正解とは限らなくても納得解）」、「企画力」、「チームで協働的に取り組む力」などを身につけることを要求されています。
- ・AIなどの科学技術は身近になっても、高校生が「仕事」に接し、身近に考える機会が減って久しい上に、自分が何年か後に仕事をするというイメージも持ちづらくなっています。
- ・「10年経つと0%の職業が無くなっている」、「今の子供が大人になったら0%が今存在しない職業についている」などの情報が高校生を不安に陥れています。そのことで、高校生も何をしたいかわからなくなっているところがあります。将来が未確定なのは、どの時代のどの若者にとっても同じことであつたにもかかわらず、いつも若者は、かわいそうな状況にあります。

（参考）【本校の生徒像】

- ・素直で礼儀正しく、地域に出して恥ずかしくない生徒たちであると信じています。
- ・コミュニケーション能力は女子が高く、男子は普通のレベルかと思っています。もちろん、個人差があります。
- ・発想力、企画力を求められると、リーダーシップを発揮する生徒より、サポートする生徒が多いと思います。

・きっかけがあると、大きく成長する姿には目を見張るものがありますが、自らそのきっかけを作るというよりは受け身に待っている生徒が多いのが現状です。われわれは彼らに「気づき」をもたらすのが使命だと思っています。

※昨年度実施後アンケートにての実際の生徒観をお配りいたします。

【ミッション設定など具体的なイメージ】

・ミッション設定

「ミッション」は生徒に対して、「〇〇に対する～を提案しプレゼンせよ」「〇〇に対する～を企画しプレゼンせよ」「〇〇をアピールする広告を作成せよ」というような投げかけをお願いします。

・ミッション設定に合わせて

ミッションに加えて、「生徒に期待する〇〇力」を選んでいただきます。皆様からのアンケートでいただいたご意見を反映してみました。ミッションだけだと生徒に求められる能力が広範すぎるので、「〇〇力」を設定することで生徒は取り組みやすく、皆様も評価しやすいと思います。以下から選択してください。

- ①企画力・アイデア力・・・あっと驚くアイデアとその実現のための企画力を期待します。
- ②調査力・実行力・・・フィールドワークや調査、イベントなどへの参加をもとに、机上の論でない説得力を期待します。
- ③表現力・プレゼン力・・・アイデアを人に伝える大切さを理解し、聞く側が驚くような方法を用いてプレゼンすることを期待します。
- ④それ以外に皆様が設定していただく〇〇力を考えていただいても結構です。

・生徒のミッション選択方法

全協力団体様からのミッションを一覧にし、生徒に第5希望まで選択させますので、希望していない生徒が混じることはありません。逆に、万が一生徒の選択がなかった場合は大変失礼になってしまいますが本年度の参加はなしとさせていただきます。その場合でも、次年度に同様のご協力をお願いしたいと思います。ご了承ください。

・来校日数

マッチング、中間報告、最終発表の3日間来校いただきます。お仕事の都合で来られない場面がありましたら、前後の週に移動することは可能ですのでおっしゃってください。また、申請があれば上記3日以外でもご来校が可能です。

・来校日以外の進捗状況

室担当の教員から、授業時間ごとにメールを送らせてます。進捗状況、困っていること、生徒の様子などをよりリアルタイムで報告します。今まで、生徒たちと皆様の関係のみで動いておりましたが、その関係プラス間に教員を入れることもできますので、様々な要望にお応えできると思います。

・生徒に仕事場を見せていただける場合

仕事場見学の方は、休日に設定していただいて構いません。部活動や検定試験があり、全員が参加できるとは限りませんがぜひよろしくをお願いします。また、その場合、室担当の方へ事前連絡をお願いします。

・派遣依頼書、招へい書などメールにて送らせていただきます。

【過去3回の参加企業・団体】

※キャリアガイダンス編集部補足
企業・団体名省略

【お申し込み方法】

- ・メールまたは電話にて参加いただけるかどうかをお知らせください。
- ・協力していただける場合は、7月15日（木）までに「ミッション」と「期待する力」を送ってください。
- ・お知り合いで協力してくださる方がいらっしゃったらご紹介ください。

担当（問い合わせ先）敬愛学園高等学校
教務部長

043-251-6361

進路指導部長

1 学年主任

※編集部補足
以下の記載を省略
・担当者名
・電話番号
・メールアドレス